

阿蘇森第139号  
平成26年6月26日

総代各位

阿蘇森林組合  
代表理事組合長 今村健正  
(公印省略)

## 北外輪及び南小国町の一部におけるスギの葉赤変について

阿蘇市北外輪から南小国町中原周辺及び当組合南小国支所周辺の山林において、スギの葉が赤茶色に変色している現象が確認されています。

### スギの赤枯れについて、熊本県の調査報告（まとめ）

被害のあるスギ林が赤茶色に変色していることが確認され、近くで見ると、スギの下枝から変色が進み、枝先に緑葉が残っている状況でした。

これは、スギハマキ（蛾の一種）の幼虫の食害によって発生する現象であり、スギの成長が一時的に遅れるものの、枯死することはほとんどなく、2～3年程度で自然に終息します。

スギハマキは、年2回、5月と8月に孵化すると言われており、8月ごろに再度被害が発生すると考えられることから、経過観察を実施致します。

スギハマキの幼虫は陰湿な環境を好む傾向があることから、林内環境の改善のため、間伐の実施を働きかけます。

### 当組合の方針

間伐が遅れ、陰湿な環境にある林内環境を改善する為、間伐を推進します。  
間伐など森林に関する作業は、最寄りの森林組合支所までご相談下さい。

また、枝打ち・獣害防止ネットの設置等もご希望や補助の予算を考慮して、実施しています。森林の保育作業についても、ご相談頂きますようお願い致します。